北海道経済学会 2017年度大会 【ワークショップ,総会(65回),シンポジウム(101回)】

本年度の北海道経済学会大会を下記のとおり開催いたします。今年度のシンポジウムは小樽商科大学が担当します。当学会は、1951年に設立され、これまで北海道の経済学者・経営学者の研究の研鑽と交流の場として活動を続けてきました。今回は、101回目のシンポジウムとなります。「地域遺産の観光資源化」をテーマに、地域遺産をいかに見いだし観光,経済に活かしていくか,先行する地域や支援機構の方々を講演者にお招きし、幅広い意見交換を通じて、とるべき戦略や、進むべき方向について検討したいと考えます。(シンポジウムの参加は無料です。事前申込みが必要です)

す)	
1. 日 時	平成 29 年 10 月 7 日 (土) 9:30~13 :15,14:10~16:45
2. 会 場	小樽商科大学札幌サテライト(札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 sapporo55 ビル 3F)
3.ワークショップ	・代表理事の挨拶 小磯 修二 (元北海道大学公共政策大学院特任教授)
9:35~10:05	・司会 前半 吉見 宏(北海道大学大学院経済学研究院) 「国鉄第三次長期計画の動向と北海道の鉄道」 研究報告者 釧路公立大学 宮下 弘美
10:05~10:35	討論者 北海道大学大学院経済学研究院 教授 吉見 宏 「北海道における北前船の歴史的価値と地域観光資源化」 研究報告者 小樽商科大学グローカル戦略推進センター研究支援部門地域経済研究部
10:35~11:05	学術研究員 高野 宏康 討論者 釧路公立大学 教授 宮下 弘美 「損益構造からみた道内金融機関のビジネスモデル」
10.00 11.00	研究報告者 財務省北海道財務局理財部金融監督第二課 林 晃平 小樽商科大学大学院商学研究科 齋藤 一朗 討論者 はまなす財団 理事長 濱田 康行
	休憩(11:05~11:15)
11:15~11:45	・司会 後半 小磯 修二(元北海道大学公共政策大学院特任教授) 「北海道における人口の高齢化の及ぼす医療経済学的実証分析」 研究報告者 札幌医科大学 山口 徳蔵,高塚 伸太朗,大西 浩文,辰巳 治之 討論者 北海道大学大学院経済学院 教授 高木 慎吾
11:45~12:15	「地域経済分析のための産業連関表の作成とその活用」 研究報告者 旭川大学経済学部 浅沼 大樹,木谷 耕平 討論者 北海道開発局開発監理部開発調査課 清水 敏史 「北海道産業連関表を用いた分析事例 - より効果的な産業連関分析を模索する - 」
12:15~12:45	研究報告者 北海道開発局開発監理部開発調査課 清水 敏史 討論者 旭川大学経済学部 准教授 浅沼 大樹
4. 総 会 12:45~13:15	議案:理事と会員の変更について 予算・決算 来年度事業計画 等
5. シンポジウム	地域遺産の観光資源化
14:10 ~ 16:45	14:10~14:15 シンポジウム担当校あいさつ 小樽商科大学 副学長 江頭 進
 *事前申込みが必要	小传的科人子 一副子 to 人類 進
です (別紙)	14:15~14:55 「江差町のまちづくりと日本遺産」
	江差町教育委員会 社会教育課主幹兼地域文化・学芸員 宮原 浩 14:55~15:35 「魅せる文化財・見せる文化財 小樽の場合」 小樽市総合博物館 館長 石川 直章
	休憩(15:35~15:45)
	パネルディスカッション 15:45~16:45 パネリスト 宮原 浩 , 石川 直章 , 近藤 真弘 ((株)地域経済活性化
	The state of the s

	支援機構), 高野 宏康 (小樽商科大学グローカル戦略 推進センター地域経済研究員) 司会:江頭 進 (小樽商科大学 副学長)
6. 懇親会 17:30~19:00	会場:ミアボッカ札幌駅北口店 会費:会員3000円 学生会員1500円 非会員4000円
7. 問合せ	北海道経済学会事務局 〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学大学院経済学研究院 地域経済経営ネットワーク研究センター内 北海道経済学会事務局 塚田 Tel&Fax 011-706-4066 Email sacade@econ.hokudai.ac.jp

北海道経済学会に未加入のみなさま、是非入会をご検討ください。連絡は上記問合せまで。

*シンポジウム, 懇親会申込方法:別紙申込用紙にご記入の上, 申込用紙に記載のメールアドレスか FAX にて送付下さい。(締め切り 10 月 2 日(月))。シンポジウム席数が 60 席ほどのためお早め に申込み〈ださい。なお午前のワークショップには学会員は参加自由です。